

発表者名	演 題 名	研究学会名	会場	日時
37) 砂川 隆 与那嶺吉正 川上和義 久貝雪野 外間 昭 金城 渚 座覇 修 渡辺 守 日比紀文 金城福則 齊藤 厚	潰瘍性大腸炎大腸粘膜固有層リンパ球より樹立したCTLの大腸上皮細胞HLAクラスI結合ペプチドに対する反応の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28 (1999)
38) 松井敏幸 櫻井俊弘	シンポジウム「炎症性腸疾患の診断と治療」 Crohn病の病態からみた内科的治療.	第25回日本医学会総会	東京	4. 4 (1999)
39) 八尾恒良 宇野博之 西村 拓 櫻井俊弘 八尾健史 松井敏幸	クローン病—診断面を中心に— (パネルディスカッション)	第54回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.23-24 (1999)
40) 櫻井俊弘 長浜 孝 松井敏幸 八尾恒良 福原俊一 岩男 泰 下山 孝	Crohn病患者のQualiti of Life(QOL)の検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
41) 尾石弥生 植木敏晴 櫻井俊弘 坂口正剛 松井敏幸 八尾恒良	Crohn病における慢性膵炎の臨床的研究.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
42) 宇野博之 古川尚志 櫻井俊弘 松井敏幸 八尾恒良 松本主之 岡田光男 吉永一彦	Crohn病患者の長期生命予後と死因の検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
43) 宗 祐人 松井敏幸 櫻井俊弘 八尾恒良 竹村 聡	Crohn病における腸管皮膚瘻と皮下膿瘍の簡易識別法—Indocyanine Green(ICG)腸管内投与法の有用性—.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-31 (1999)
44) 篠崎 大 渡辺聡明 名川弘一	潰瘍性大腸炎を母地とした大腸癌・dysplasiaの好発病状態	第41回日本消化器病学会大会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.31 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会場	日時
45) 梅谷直亨 渡辺聡明 篠崎 大 松田圭二 石神浩徳 名川弘一	潰瘍性大腸炎関連大腸癌発生における microsatellite instability	第10回日本消化器癌発生 学会総会	熊本	9.2 (1999)
46) 日比紀文 長沼 誠 岩男 泰 渡辺 守	炎症性腸疾患の新しい治療法：白血球除 去療法と免疫統御法. (特別パネル)	第54回日本肛門病学会総 会	東京	10.23 (1999)
47) 岩男 泰 長沼 誠 日比紀文	炎症性腸疾患におけるルーチン検査と しての拡大内視鏡手技. (ビデオワークショップ)	第58回消化器内視鏡学会 総会	広島	10.28 (1999)
48) 金井隆典 渡辺 守 日比紀文	クローン病病変における腸管粘膜内Th1CD4 陽性T細胞および活性化マクロファージの役 割とこれを標的とした慢性腸炎治療法の開発. (パネルディスカッション)	第41回日本消化器病学会 大会 DDW-Japan1999	広島	10.29 (1999)
49) Naganuma,M. Watanabe,M. Kanai,T. Nakazawa,A. Yajima,T. Matsukawa,H. Iwao,T. Ishii,H. Mukai,M. Hibi,T.	Unique strycture of T lymphocyte Aggregates in intestinal villi ofCrohn's disease.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association	Orland Florida	5.17 (1999)
50) 長沼 誠 渡辺 守 金井隆典 岩男 泰 一松 収 佐藤俊朗 船越信介 高木英恵 福井一人 岡沢 啓 中野 雅 中澤 敦 石井裕正 日比紀文	クローン病に認められる回腸末端絨毛 内のT lymphocyte aggregates(TLA)の検 討.	第36回消化器免疫学会総 会	仙台	7.23-24 (1999)
51) kamaru,K. Kanai,T. Watanabe,M. Okasawa,M. Naganuma,M. Ishii,H. Ikeda,M. Kurimoto,M. Hibi,T.	Interleukin-18 is expressed in intestinal mucosa and regulates mucosal T cell proliferation in Crohn's disease.	10 th International Congress of Mucosal Immunology	オランダ	7. 1 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会場	日時
52) 桂島良子 樋渡信夫 木内喜孝 島田剛延 豊田隆謙	炎症性腸疾患(IBD)と血小板由来増殖因子(PDGF)とPDGF受容体(PDGF-R)の関与(第2報)	第85回日本消化器病学会 総会	長崎	4.24 (1999)
53) 樋渡信夫	シンポジウム「炎症性腸疾患の病態と治療」 重症・難治性潰瘍性大腸炎の内科的治療	第25回日本医学会総会	東京	4.2-4 (1999)
54) Kumagai, Y. Ohtani, H. Hiwatashi, N. Fukushima, K. Dairaku, N. Simosegawa, T. Toyoya, T. Nagura, H.	In situ expression of platelet-derived growth factor(PDGF) and its receptor (PDGF-R) in inflammatory bowel disease.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association		5.15-19 (1999)
55) Noguchi, M. Hiwatashi, N. Ohara, T. Toyota, T.	Development of Th1 CD4+T-cells via IL-12p70 in Crohn's disease but lack of development of Th1 cells via IL-12 in ulcerative colitis.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association		5.15-19 (1999)
56) Funayama, Y. Sasaki, I. Naitou, H. Fukushima, K. Shibata, C. Masida, T. Hiwatashi, N. Matsuno, S.	Ulcerative appendicitis as an independent but possibly promoting lesion in ulcerative colitis.	99 th Annual Meeting of American Gastroenterological Association		5.15-19 (1999)
57) 野口光徳 樋渡信夫 下瀬川 徹 豊田隆謙	ワークショップ「消化器粘膜の炎症—粘膜上皮の細胞障害とその機序—」 炎症性腸疾患患者粘膜におけるTh1免疫能亢進とその制御.	第20回日本炎症学会	仙台	7.15-16 (1999)
58) 熊谷進司 大谷明夫 樋渡信夫 福島浩平 下瀬川徹 豊田隆謙 名倉 宏	シンポジウム「消化器粘膜の障害と修復のメカニズム」 炎症性腸疾患(IBD)における血小板由来増殖因子(PDGF)とその受容体(PDGF-R)の組織内発現.	第36回消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
59) 渡邊浩光 樋渡信夫 織内竜生	ビデオワークショップ「内視鏡的拡張術の手技と成績」 クローン病の狭窄に対する内視鏡的拡張術.	第58回消化器内視鏡学会 総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.28-29 (1999)
60) 大栗紀子 樋渡信夫 熊谷進司 岩瀬正広 下瀬川 徹 豊田隆謙 大谷明夫 名倉 宏	炎症性腸疾患(IBD)の炎症修復過程における血管内皮細胞増殖因子(vascular endothelial growth factor; VEGF)の関与について.	第40回日本消化器病学会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-31 (1999)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会場	日時
61) 有廣誠二 大谷明夫 樋渡信夫 名倉 宏	炎症性腸疾患におけるSepraseの発現.	第88回日本病理学会	東京	4. 6- 8 (1999)
62) 熊谷進司 大谷明夫 樋渡信夫 下瀬川 徹 豊田隆謙 名倉 宏	炎症性腸疾患(IBD)における血小板由来増殖因子(PDGF)とPDGF受容体(PDGF-R).	第36回日本消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
63) 有廣誠二 大谷明夫 樋渡信夫 名倉 宏	炎症性腸疾患の炎症巣および線維化巣におけるsepraseの役割.	第36回日本消化器免疫学会総会	仙台	7.23-24 (1999)
64) 竹島史直 牧山和也 村瀬邦彦 大仁田 賢 古巣 央 山尾拓史 池田幸紀 磯本 一 河野 茂	潰瘍性大腸炎の虫垂開口部病変における炎症細胞免疫組織学的検討.	第57回日本消化器内視鏡学会総会	金沢	5.10-12 (1999)
65) 竹島史直 牧山和也 谷山紘太郎	Eosinophil cationic protein(ECP)の腸管平滑筋への作用.	第85回日本消化器病学会総会	長崎	4.22-24 (1999)
66) Takeshina,F. Makiyama,K. Taniyama,K.	Eosinophil cationic protein contracts the smooth muscle of Guinea-pig Intestine. (ポスター)	American DDW 1999	フロリダ	5.16-19 (1999)
67) 中村志郎 松本蒼之 押谷伸英 荒川哲男 黒木哲夫 大谷明夫 名倉 宏	クローン病における肉芽腫は成熟樹状細胞が共通の形質発現・動態をしている一病態形成への関与一.	第29回日本免疫学会総会	京都	12. 1- 3 (1999)
68) 坂本十一 石黒 陽 金沢浩介 山形和史 棟方昭博	潰瘍性大腸炎治療指針改定案の妥協性に関する検討.	第41回日本消化器病学会大会 DDW-Japan1999	広島	10.30 (1999)
69) 鈴木康夫 吉村直樹 齋藤 康	活動期潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法の検討.	第19回日本アフエシス学会	滋賀	6.10-11 (1999)
70) 鈴木康夫 吉村直樹 齋藤 康	重症潰瘍性大腸炎に対する各種治療成績の検討と今後の治療戦略. (パネルディスカッション)	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)
71) 和泉秀彰 鈴木康夫	潰瘍性大腸炎患者におけるNKT細胞の検討.	第58回日本消化器内視鏡学会総会 DDW-JAPAN 1999	広島	10.29-30 (1999)

社会活動報告

社会活動の報告

氏名(所属)	会の名称および講演演題	年・月・日	場所
下山 孝 (兵庫医大4内)	「難病患者ホームヘルパー養成研修」 難病に関する基礎知識3. ～消化器系難病の理解と治療 (クローン病、潰瘍性大腸炎)～	平成12年2月9日	神戸
金城福則 (琉球大1内)	「潰瘍性大腸炎講演及び相談会」	平成11年9月27日	沖縄
里見匡迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎とクローン病患者・家族に対する医療相談と講演」	平成11年8月24日	川西
里見匡迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎の理解と最近の治療について」	平成12年2月6日	吹田
高添正和 (社保中央病院内)	「クローン病講演会」	平成11年4月17日	神戸
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患の病態に関する講演会」	平成11年4月22日	千葉
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療相談会」	平成11年5月22日	横浜
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療相談会」	平成11年5月24日	新宿
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年5月29日	難病連
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年7月1日	松戸
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年7月12日	八王子
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年7月17日	相模原
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年8月24日	習志野
高添正和 (社保中央病院内)	「潰瘍性大腸炎医療相談会」	平成11年9月11日	横浜
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年9月22日	東京
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年9月27日	小金井
高添正和 (社保中央病院内)	「難病患者等食生活支援事業」	平成11年9月30日	静岡
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年10月4日	茅ヶ崎
高添正和 (社保中央病院内)	「クローン病の療養生活について」	平成11年10月31日	広島
高添正和 (社保中央病院内)	「クローン病医療講演会」	平成11年11月5日	館林
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患講演会」	平成11年11月19日	福井
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患病態講演会」	平成11年11月24日	東京
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成11年12月4日	東京
高添正和 (社保中央病院内)	「医療相談会」	平成11年12月19日	東京
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患講演会」	平成12年1月22日	神奈川
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成12年2月8日	柏
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成12年2月12日	町田
高添正和 (社保中央病院内)	「炎症性腸疾患医療講演会」	平成12年2月21日	野田(千葉)

氏名(所属)	会の名称および講演演題	年・月・日	場所
福田能啓 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病について」	平成11年8月6日	山崎
福田能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病の基礎知識と最新医療について」	平成11年9月12日	吹田
福田能啓 山村 誠 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病について」	平成11年9月19日	但馬
福田能啓 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の最近の治療について」	平成11年10月10日	出雲
里見匡迪 (兵庫医大4内)	「潰瘍性大腸炎と上手につきあうために」	平成11年10月19日	伊丹
福田能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病について」	平成11年10月25日	尼崎
福田能啓 (兵庫医大4内)	「クローン病の栄養療法について」	平成11年11月13日	熊本
福田能啓 (兵庫医大4内)	「難病患者ホームヘルパー養成研修 難病に関する基礎知識2. ～消化器系難病の理解と治療 (クローン、病潰瘍性大腸炎)～」	平成12年2月1日	神戸
馬場忠雄 (滋賀医大2内)	「クローン病・潰瘍性大腸炎シンポジウム ～本当にたずねたいことが今、あきらかに」	平成11年10月17日	大阪
馬場忠雄 (滋賀医大2内)	「医療相談消化器系疾患、平成11年度 難病総合相談会」	平成11年10月17日	八日市
樋渡信夫 (東北大3内)	「炎症性腸疾患と栄養」	平成11年7月25日	宮城
樋渡信夫 (東北大3内)	「重症・難治性潰瘍性大腸炎の内科的治療」	平成12年1月27日	仙台
牧山和也 (長崎大光学医療診療部)	「長崎県栄養士会生涯学習研修会 クローン病－病態と栄養管理について」	平成11年9月12日	長崎
牧山和也 (長崎大光学医療診療部)	「難病患者医療相談事業 クローン病とはどのような病気か」	平成11年9月26日	西彼杵(長崎)
牧山和也 (長崎大光学医療診療部)	「難病患者医療相談事業 クローン病と上手につきあうには」	平成11年10月7日	壱岐(長崎)
牧山和也 (長崎大光学医療診療部)	「クローン病患者・家族の集い」	平成12年2月19日	佐世保(長崎)
牧山和也 (長崎大光学医療診療部)	「炎症性腸疾患腸疾患学術講演会」	平成12年1月21日	熊本
松本譽之 (大阪市大3内)	「保健所合同栄養士研修会」	平成11年4月29日	松原
松本譽之 十河光栄 (大阪市大3内)	「難病患者相談会」	平成11年8月23日	東住吉
松本譽之 (大阪市大3内)	「クローン病の医学的知識を学ぶ」	平成11年9月27日	東淀川
松本譽之 (大阪市大3内)	「クローン病の病態及び治療について」	平成11年9月29日	河内長野
松本譽之 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎の最近の医療について」	平成11年10月8日	守口
松本譽之 (大阪市大3内)	「クローン病について」	平成11年10月24日	寝屋川
松本譽之 中村志郎 澤 禎徳 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病講演会・相談会」	平成11年11月4日	東大阪

氏名(所属)	会の名称および講演演題	年・月・日	場所
松本譽之 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成11年11月5日	東成
松本譽之 (大阪市大3内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病講演会・相談会」	平成11年11月12日	狭山
松本譽之 押谷伸英 中村志郎 北野厚生 (大阪市大3内)	「クローン病教室」	平成11年11月16日	大阪
松本譽之 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成12年2月17日	富田林
松本譽之 (大阪市大3内)	「クローン病相談会」	平成12年2月22日	狭山
松本譽之 澤 禎徳 (大阪市大3内)	「難病患者療養相談会」	平成12年3月2日	港
鈴木康夫 (千葉大2内)	「消化器系難病の集い」	平成11年6月17日	安房
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の個別相談」	平成11年7月6日	千葉
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の集い」	平成11年9月2日	勝浦(千葉)
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の集い」	平成11年9月16日	市原
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の個別相談」	平成11年9月21日	千葉
鈴木康夫 (千葉大2内)	「クローン病の個別相談」	平成11年10月7日	安房
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎・クローン病の集い」	平成11年10月19日	茂原(千葉)
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎の集い」	平成11年11月10日	千葉
鈴木康夫 (千葉大2内)	「潰瘍性大腸炎の最新治療法に関する講演」	平成11年12月2日	市原
鈴木康夫 (千葉大2内)	「クローン病の集い」	平成11年12月8日	千葉

研究事業報告

厚生科学研究特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成11年度第1回総会プログラム

(敬称略、プロジェクト名は仮題)

平成11年11月26日(金)

開会 (9:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方

下山 孝

II. 研究報告

1. プロジェクト研究 (9:20~9:50)

「UCとCDの病因因子としての遺伝子の検討」

責任者：田村和朗

- (1) 炎症性腸疾患の遺伝学的調査と原因遺伝子の検討
○田村和朗, 指尾宏子, 古山順一(兵庫医大遺伝)
- (2) 潰瘍性大腸炎HLA抗原領域における遺伝的多型の検討
○杉村一仁, 松澤 純, 関 鈴子, 朝倉 均(新潟大3内), 太田正穂(信州大法医), 猪子英俊(東海大遺伝情報)
- (3) 日本人クローン病におけるTNF- α 遺伝子5'領域多型
樋渡信夫, ○根来健一, 木内喜孝, 高橋成一(東北大3内)

2. プロジェクト研究 (9:50~10:50)

「UCとCDにおける免疫異常の検討」

責任者：日比紀文

- (1) クローン病におけるIL-18の意義—第二報—
○金井隆典, 中丸幸一, 岡沢 啓, 佐藤俊朗, 福井一人, 中野 雅, 井上 詠, 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (2) インターロイキン18の産生・分泌機構
○筒井ひろ子, 岡村春樹, 中西憲司(兵庫医大免疫医動物)
- (3) *Yersinia Enterocolitica* Hsp60単独投与によるマウス大腸炎の発症
八木田旭邦, ○助川寧, 丸山正二(近畿大腫瘍免疫等研究所)
- (4) 潰瘍性大腸炎—大腸粘膜固有層リンパ球より樹立したCTLの大腸上皮細胞HLAクラスI結合ペプチドに対する反応の検討
○砂川 隆, 金城福則, 与那嶺吉正, 齋藤 厚(琉球大1内), 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (5) クローン病の肉芽腫における, 抗原特異的T細胞の活性化・増殖に関する検討
松本奮之, ○神野良男, 原 順一, 中村志郎, 押谷伸英(大阪市大3内), 大谷明夫, 名倉 宏(東北大大学院医学系研究科病理), 西口幸雄, 平川弘聖(大阪市大1外)
- (6) 高分子デキストラン硫酸大腸炎モデルの病態の解析

坪内博仁, ○井戸章雄, 宮田義史, 山本章二郎, 田原良博 (宮崎医大2内)

3. プロジェクト研究 (10:50~12:20)

「潰瘍性大腸炎の診断と治療指針の検討」

責任者：棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎患者における大腸粘膜の色調・血管透見性と組織学的大腸粘膜の血管・炎症細胞数との相関
○佐々木賀広, 三浦 心, 棟方昭博 (弘前大1内), 田中正則 (同2病理)
- (2) パルス+アンテドラッグ局所療法の成績
○茂木健太, 澤田俊夫 (群馬県立がんセンター)
- (3) 潰瘍性大腸炎に対する Rebamipide (antioxidant) の注腸療法の試み
○牧山和也, 竹島史直 (長崎大光学医療診療部)
- (4) 重症潰瘍性大腸炎に対するサイクロスポリン投与の検討
○鈴木康夫, 吉村直樹, 斎藤 康 (千葉大2内)
- (5) Hemophagocytic syndrome (HPS) を生じた重症潰瘍性大腸炎の1例
○篠崎 大, 渡辺聡明, 堀 信一, 額瀬真一郎, 名川弘一 (東京大腫瘍外科)
- (6) 潰瘍性大腸炎の経過中に前胸部に無菌性皮下膿瘍の形成を認めた1例
○宮里史郎, 金城福則, 久貝雪野, 斎藤 厚 (琉大1内)
- (7) 炎症性腸疾患患者の心理社会的因子の研究：潰瘍性大腸炎患者の臨床症状とストレスについて
○林田秀樹, 廣松矩子 (大腸肛門病センター高野病院健康管理センター), 小林伸行 (同心療内科), 守田則一, 野崎良一 (同消化器内科), 高野正博 (同外科)
- (8) 炎症性腸疾患に合併した静脈血栓症について
○馬場忠雄, 佐々木雅也, 辻川知之, 安藤 朗, 藤山佳秀 (滋賀医大2内), 程原佳子 (同輸血部)
- (9) Phosphatidylcholine hydroperoxide測定による潰瘍性大腸炎における脂質過酸化の検討
○増子 毅, 舟山裕士, 佐々木巖, 内藤広郎, 福島浩平, 柴田 近, 児山 香, 高橋賢一, 小川 仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 北山 卓, 松野正紀 (東北大1外)

昼食・幹事会 (12:20~13:20)

4. プロジェクト研究 (13:20~13:50)

「クローン病の診断と治療指針の検討」

責任者：樋渡信夫

- (1) クローン病での Roxithromycin 持続投与の試み
○岡沢 啓, 一松 取, 船越信介, 高木英恵, 江崎俊彦, 長沢 誠, 岩男 泰, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)
- (2) Crohn病患者的のQOL—日本語版IBDQを用いた検討—
○櫻井俊弘, 平井郁仁, 菊池陽介 (福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰 (慶應大内科), 橋本英樹 (帝京大2内), 福原俊一 (東京大大学院医学系研究科国際交流室)
- (3) クローン病患者を対象とした行動心理学的教育プログラム
○橋本英樹 (帝京大衛生学公衆衛生), 岩男 泰, 長沼 誠, 井上 詠 (慶應大内科), 金井隆典, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科, 慶應がんセンター)

5. プロジェクト研究 (13:50~16:30)

「白血球除去・吸着療法の有用性の検討」

特定疾患対策研究事業「炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究」と合同

責任者：下山 孝

- (1) 潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法の限界と適応
 - 鈴木康夫, 吉村直樹, 斎藤 康 (千葉大2内)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対する白血球除去—長期予後—
 - 天野國幹, 天野幹三 (広島クリニック観音)
- (3) 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究

下山 孝, ○澤田康史, 里見匡迪, 福田能啓 (兵庫医大4内), 朝倉 均 (新潟大3内), 飯塚文瑛 (東京女子医大消化器センター), 金城福則 (琉球大1内), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 戸澤辰雄 (兵庫医大中央臨床検査部), 名川弘一 (東京大腫瘍外科), 西上隆之 (兵庫医大2病理), 馬場忠雄 (滋賀医大2内), 日比紀文 (慶應大内科), 樋渡信夫 (東北大3内), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 藤原研司, 太田慎一 (埼玉医大3内), 牧山和也 (長崎大光学医療診療部), 松本誉之 (大阪市大3内), 棟方昭博 (弘前大1内), 北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部), 鈴木康夫 (千葉大2内), 楠神和男 (名古屋大1内), 高後 裕 (旭川医大3内)

事務局連絡 (16:30~17:00)

平成11年11月27日(土)

I. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課挨拶 (9:00~9:10) 金谷泰宏

II. 研究発表(続)

6. プロジェクト研究 (9:10~9:20)

「UCとCDのデータベースを引き続き拡張・充実する」

責任者: 名川弘一

(1) IBDデータベースの拡張と問題点

○名川弘一, 篠崎 大, 渡辺聡明 (東京大腫瘍外科), 武藤徹一郎 (癌研)

7. プロジェクト研究 (9:20~10:00)

「UCとCDの食事に関する検討」

責任者: 馬場忠雄

(1) 活動期クローン病に対するエレンタール®単独と脂肪製剤併用エレンタール群の比較検討

○馬場忠雄 (滋賀医大2内), 樋渡信夫 (東北大3内), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 松本誉之 (大阪市大3内), 福田能啓 (兵庫医大4内), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器科)

(2) クローン病の患者対照研究 (最終報告)

○古野純典 (九州大学防医学)

(3) 炎症性腸疾患の脂溶性ビタミンに関する研究: 7日間摂取食事調査の解析

○戸田信晴, 豊田裕輝子 (大腸肛門病センター高野病院栄養科) 守田則一, 野崎良一, 滝本彰夫 (同消化器内科) 高木幸一, 高野正博 (同外科)

(4) 炎症性腸疾患における, 血清anti-Saccharomyces Cervisiae antibody (ASCA) に関する検討—第2報—

松本誉之, ○押谷伸英, 原 順一, 中村志郎 (大阪市大3内), 羽藤文彦 (同2生理)

8. プロジェクト研究 (10:00~10:20)

「IBDの病理学的検討」

責任者: 名倉 宏

(1) 炎症性腸疾患におけるマトリックス分解酵素と組織再構築

○大谷明夫, 有廣誠二, 名倉 宏 (東北大大学院医学系研究科病理)

- (2) TNBS腸炎を用いた腸管樹状細胞の解析
棟方昭博, ○石黒 陽, 山形和史, 桜庭裕丈(弘前大1内)

休憩(10:20~10:30)

9. プロジェクト研究(10:30~12:00)

「UCとCDの手術適応と手術法の見直し」

責任者: 名川弘一

- (1) Staphylococcus aureus腸管感染を伴った潰瘍性大腸炎手術例の一例
○千葉満郎, 飯塚政弘, 渡邊純夫(秋田大1内), 福島恒男(横浜市立市民病院外科), 保科定頼, 河野 緑(慈恵医大臨床検査), 飛田正子(秋田大臨床検査)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対するPouch手術後におけるcovering ileostomy閉鎖不能症例の検討
○吉岡和彦, 中野雅貴, 岩本慈能, 今田世紀, 吉田 良, 高田秀穂, 日置紘士郎(関西医大2外)
- (3) 潰瘍性大腸炎術後早期死亡例の検討
中野博重, ○畑 倫明, 藤井久男, 小山文一, 寺内誠司, 杉森志穂, 向川智英, 榎本泰三, 山内昌哉, 中尾 武(奈良医大1外)
- (4) 潰瘍性大腸炎術後死亡例の検討
○小金井一隆, 福島恒男(横浜市立市民病院外科)
- (5) 長期予後からみたUC術式の再検討
亀岡信悟, ○板橋道朗(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同消化器センター), ほか
- (6) 潰瘍性大腸炎手術例のQOL—SF36を用いた検討—(第2報)
○杉田 昭, 嶋田 紘(横浜市大2外), 橋本英樹(帝京大公衆衛生), 岩男 泰(慶應大内科), 福原俊一(東京大大学院医学系研究科国際交流室), 福島恒男(横浜市立市民病院外科)
- (7) CD重症例に対する外科的マネジメントの検討
亀岡信悟, ○板橋道朗(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同消化器センター), ほか
- (8) クロウン病における器械吻合と手縫い吻合の長期予後について
○池内浩基, 楠 正人, 野田雅史, 柳 秀憲, 莊司康嗣, 山村武平(兵庫医大2外)
- (9) ラット大腸亜全摘後の残存小腸・大腸・腎臓における水チャンネル遺伝子発現に関する検討
○谷 達夫, 畠山 悟, 島村公年, 岡本春彦, 須田武保, 酒井靖夫, 畠山勝義(新潟大1外), 山本 格(同腎研究施設)

主任研究者挨拶(12:00)

下山 孝

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成11年度第1回総会出席者名簿

1999年11月26日・27日

(参加139名)(敬称略)

主任研究者: 下山 孝

分担研究者: 馬場 忠雄(滋賀医大2内), 日比 紀文(慶應大内), 棟方 昭博(弘前大1内),
樋渡 信夫(東北大3内), 杉村 一仁(新潟大3内), 味岡 洋一(新潟大1病理),
杉田 昭(横浜市大浦舟病院2外), 畠山 勝義(新潟大1外),
櫻井 俊弘(福岡大筑紫病院消化器), 牧山 和也(長崎大光学医療診療),

金城 福則 (琉球大1内), 松本 誉之 (大阪市大3内),
高添 正和 (社保中央総合病院内), 福田 能啓 (兵庫医科大学4内),
北洞 哲治 (国立大蔵臨床研究), 守田 則一 (大腸肛門病センター高野病院),
八木田 旭邦 (近畿大腫瘍免疫等研究所), 山村 武平 (兵庫医大2外),
佐々木 巖 (東北大1外), 吉岡 和彦 (関西医大2外), 中野 博重 (奈良医大1外),
名倉 宏 (東北大病理), 吉野 純典 (九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員: 田村 和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍)

他班よりの研究協力者:

名川 弘一 (東京大腫瘍外)

評価委員: 柳内 登 (国立療養所晴嵐荘病院), 武藤 徹一郎 (癌研究会附病院),
粉川 皓仲 (国立京都病院)

厚生省: 金谷 泰宏

他:

後藤 啓 (札幌医大1内), 坂牧 純夫 (札幌医大4内),
蘆田 知史, 高後 裕, 藤谷 幹浩 (旭川医大3内),
石黒 陽, 桜庭 裕文, 佐々木 賀広 (弘前大1内), 千葉 満郎 (秋田大1内),
澤田 俊夫, 茂木 健太 (群馬県立がんセンター),
根来 健一, 早川 知彦 (東北大3内), 舟山 裕士, 増子 毅 (東北大1外),
有廣 誠二, 大谷 明夫 (東北大病理形態), 太田 慎一 (埼玉医大3内),
鈴木 康夫 (千葉大2内), 橋本 英樹 (帝京大公衆衛生),
篠崎 大, 石神 浩徳 (東京大腫瘍外), 千田 俊雄 (東京医科歯科大学保健衛生),
岡沢 啓, 岩男 泰, 金井 隆典 (慶應大内),
正田 良介 (国立国際医療センター),
飯塚 文瑛, 塚田 百合子 (東京女子医大消化器),
板橋 道朗, 永田 仁 (東京女子医大2外), 佐藤 公 (山梨医大1内),
谷 達夫, 須田 武保, 島村 公年 (新潟大1外),
朝倉 均, 本間 照 (新潟大3内), 向田 直史 (金沢大がん研),
馬場 正三 (浜松医大), 川上 和彦 (浜松医大2外),
楠 神和男, 西尾 雄司, 伊奈 研次 (名古屋大1内),
藤井 久男, 畑 倫明, 稲次 直樹, 向川 智英, 小山 文一 (奈良医大1外),
佐々木 雅也, 辻川 知之 (滋賀医大2内), 北野 厚生 (大阪市立住吉市民病院),
神野 良男, 押谷 伸英, 澤 禎徳 (大阪市大3内),
助川 寧 (近畿大学腫瘍免疫等研究所),
宮本 博行 (和歌山県赤十字血液センター),
水野 元夫, 岡田 裕之, 河野 博行 (岡山大1内), 天野 国幹 (広島クリニック),
井上 幹夫 (福岡大), 平井 郁仁, 宇野 博之 (福岡大筑紫病院消化器),
戸田 信晴, 林田 秀樹 (大腸肛門病センター高野病院),
弘野 修一, 山本 章二郎, 宮田 義史, 田原 良博 (宮崎医大2内),
宮里 史郎, 金城 渚, 砂川 隆, 与那嶺 吉正 (琉球大1内),
国馬 誠一郎, 小瀬戸 隆, 池末 金剛 (日本抗体研究所), 永倉 直樹 (エーザイ),
藤井 克典, 西山 浩二 (日清キョーリン), 城 風 淳一 (旭メディカル),
澤田 和英, 鈴木 学, 梅澤 努, 村田 正弘, 西川 正彦, 鈴木 秀樹 (味の素),
山崎 陽介, 前田 涉, 石澤 祐介 (ヘキスト・マリオン・ルセル),
戸澤 辰雄 (兵庫医大中検), 池内 浩基 (兵庫医大2外),
筒井 ひろ子 (兵庫医大免疫医動物), 阪本 尚正 (兵庫医大衛生),

指 尾 宏 子 (兵庫医大遺伝学), 西 上 隆 之 (兵庫医大2病理),
里 見 匡 迪, 田 村 和 民, 山 村 誠, 澤 田 康 史, 福 井 信, 近 野 真 嗣, 松 村 徹 也,
堀 和 敏, 矢 野 隆 子, 横 田 芳 郎, 馬 場 裕 子, 大 楠 和 信 (兵庫医大4内),
事 務 局 : 宮 本 佳 美, 長 瀬 和 子, 國 井 智 子

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成11年度第2回総会プログラム

(敬称略、プロジェクト名は仮題)

平成12年1月25日(火)

開会 (13:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 下山 孝

II. 研究報告

1. プロジェクト研究 (13:10～13:40)

「白血球除去・吸着療法の多施設共同研究を完遂して、新治療法として確立する」

特定疾患対策研究事業「炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究」と合同

責任者：下山 孝

(1) 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究の経過報告

下山 孝、○澤田康史、里見匡迪、福田能啓(兵庫医大4内)、朝倉 均(新潟大3内)、飯塚文瑛(東京女子医大消化器内科)、金城福則(琉球大1内)、櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器科)、高添正和(社保中央総合病院内科)、戸澤辰雄(兵庫医大中央臨床検査部)、名川弘一(東京大腫瘍外科)、西上隆之(兵庫医大2病理)、馬場忠雄(滋賀医大2内)、日比紀文(慶應大内科)、樋渡信夫(東北大3内)、福島恒男(横浜市民市民病院外科)、藤原研司、太田慎一(埼玉医大3内)、牧山和也(長崎大光学医療診療部)、松本啓之(大阪市大3内)、棟方昭博(弘前大1内)、北洞哲治(国立大蔵病院臨床研究部)、鈴木康夫(千葉大2内)、楠神和男(名古屋大1内)、高後 裕(旭川医大3内)

(2) 重症及び難治例(8例)に対する顆粒球吸着療法の効果

○飯塚文瑛、木間直子、山岸直子、篠崎幸子、飯村光年、塚田百合子、中村哲夫(東京女子医大消化器内科)

2. プロジェクト研究 (13:40～14:00)

「病因としての腸内細菌を、消化管に棲息する細菌相互の関連から検討する」

責任者：岡村 登

(1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜上の細菌叢

○岡村 登、千田俊雄、小林久美子、馬場千恵美(東京医歯大・医・保健衛生)、岡村 孝(都立大塚病院外科)、松村徹也、下山 孝(兵庫医大4内)

(2) 炎症性腸疾患における *Staphylococcus aureus* の意義

○千葉満郎、飯塚政弘、渡辺純男(秋田大1内)、保科定頼、河野 緑(慈恵医大臨床検査)、福島恒男(横浜市民病院外科)、飛田正子(秋田大臨床検査)

3. プロジェクト研究 (14:00～14:10)

「CD患者の腸管内抗原を確定し、粘膜の蛋白透過性亢進を検索する」

責任者：下山 孝

- (1) クロウン病患者血清からのIgG anti-Saccharomyces cerevisiae antibody (ASCA)の分離及びビオチン化IgG ASCAによる対応抗原の検討

松本蓄之, ○押谷伸英, 原 順一, 中村志郎 (大阪市大3内), 羽藤文彦 (同2生理)

4. プロジェクト研究 (14:10~14:30)

「潰瘍性大腸炎の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎の診療・治療の今後の検討について

○棟方昭博 (弘前大1内)

- (2) 潰瘍性大腸炎における6-MPの緩解維持およびPSL減量効果の再検討

○長沢 誠, 佐藤俊朗, 一松 取, 船越信介, 岡沢 啓, 金井隆典, 緒方晴彦, 岩男 泰, 渡辺 守, 日比紀文 (慶應大内科)

5. プロジェクト研究 (14:30~15:00)

「クロウン病の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 樋渡信夫

- (1) クロウン病の活動指数, 重症度分類

○樋渡信夫 (東北大3内)

- (2) IBDの皮膚病変

牧山和也, ○磯本 一 (長崎大光学医療診療部)

- (3) Crohn病における内視鏡的拡張術の有用性

○松井敏幸, 櫻井俊弘, 八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科)

6. プロジェクト研究 (15:00~15:30)

「IBD患者の食事内容の検討」

責任者: 古野純典

- (1) IBD患者の食事内容の検討

○古野純典 (九州大公衆衛生)

- (2) IBD患者の7日間食事摂取調査の実態 (第1報)

○守田則一, 野崎良一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科), 戸田信晴, 豊田裕輝子 (同 栄養科), 高木幸一, 高野正博 (同 外科)

- (3) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究

○北洞哲治 (国立大藏病院臨床研究部, 同 消化器科), 宇都宮利善, 横山巽子, 今場清子, 小野ひろみ (同臨床研究部), 林 篤, 大原 信, 田代博一 (同消化器科)

7. プロジェクト研究 (15:30~16:00)

「CDにおける食事脂肪の関与を確定する研究を完遂する」

責任者: 馬場忠雄

- (1) 腸管上皮細胞における中鎖, 長鎖脂肪酸におけるケモカイン産成制御

馬場忠雄, ○高谷宏樹, 佐々木雅也, 安藤 朗, 辻川知之, 藤山佳秀 (滋賀医大2内)

- (2) クロウン病の栄養療法におけるn-3系脂肪酸投与の意義

下山 孝, ○福田能啓, 小坂 正, 奥井雅憲, 馬場裕子, 田村和民, 里見匡迪 (兵庫医大4内)

- (3) Crohn病における栄養療法のクリニカルパスウェイ

高添正和 (社保中央総合病院内科), ○穴見美佳, 鳥居 明, 戸田剛太郎 (慈恵医大1内)

8. プロジェクト研究 (16:00～16:10)

「消化管機能改善，環境改善を食品や嗜好の偏りの面から検討する。」

責任者：下山 孝

(1) Crohn病患者の便性に対する食物繊維の効果

高添正和 (社保中央総合病院内科)，○齋藤恵子 (同 栄養指導室)

9. プロジェクト研究 (16:00～16:20)

「新治療法を開発する」

責任者：下山 孝

(1) HGF-ミニレビュー

坪内博仁 (宮崎医大2内)

(2) 高分子デキストリン硫酸モデルの病態の解析—大腸粘膜における増殖因子の発現—

坪内博仁，○井戸章雄，弘野修一，宮田義史，山本章二郎，田原良博士 (宮崎医大2内)

10. プロジェクト研究 (16:20～16:40)

「UCとCD患者のQOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者：櫻井俊弘

(1) IBDQを用いたCrohn病患者QOLの検討

○櫻井俊弘，松井敏幸，八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科)，岩男 泰，(慶應大内科)，橋本英樹 (帝京大2内)，福原俊一 (東京大大学院医学系研究科)

(2) UCとCD患者のQOLにストーマは影響を及ぼすか?—大腸癌患者における予備的検討

○吉岡和彦，中野雅貴，岩本慈能，今田世紀，吉田良，高田秀穂，日置紘四郎 (関西医大2外)

事務局連絡 (16:40～17:00)

懇親会 (17:00～19:00)

平成12年1月26日(水)

I. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課挨拶 (9:00～9:10) 金谷泰宏

II. 研究発表 (続)

11. プロジェクト研究 (9:10～9:40)

「UCとCDのデータベースを拡張充実し，両疾患研究に資する態勢をつくる」

責任者：名川弘一

(1) IBD診断書の統一案

○名川弘一 (東京大腫瘍外科)，里見匡迪，下山 孝 (兵庫医大4内)，棟方昭博 (弘前大1内)，樋渡信夫 (東北大3内)

(2) 潰瘍性大腸炎の医療給付対象者の検討

○金城福則，久貝雪野，諸喜田林，外間 昭，半仁田慎一，又吉亮二，内間庸文，豊見山良作，齋藤 厚 (琉球大1内)

12. プロジェクト研究 (9:40～10:10)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で，より多数例で検討する」

責任者：田村和朗

- (1) 炎症性腸疾患の遺伝学的調査と原因遺伝子の検討
○田村和朗, 指尾宏子, 古山順一(兵庫医大遺伝)
- (2) 直接シーケンシングによるHLA-DRB タイピング—家族性を有するIBD症例での検討—
○田村好弘, 渡辺智子, 福田真作, 対馬健一, 棟方昭博(弘前大1内)
- (3) 腸内細菌叢通常化モデルを用いて炎症性腸疾患関連遺伝子のスクリーニング—その可能性と限界—
○北山 卓, 福島浩平, 内藤広郎, 舟山裕士, 柴田 近, 児山 香, 増子 毅, 高橋賢一, 小川仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 佐々木 巖, 松野正紀(東北大1外)

13. プロジェクト研究 (10:10~12:20)

「UCとCDにおける免疫異常・サイトカインを検索し、新治療の開発を図る」

責任者：日比紀文

- (1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜固有層リンパ球より樹立したCTLlineにおけるT細胞レセプターの検討
○砂川 隆, 金城福則, 与那嶺吉正, 齋藤 厚(琉球大1内), 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (2) 潰瘍性大腸炎における大腸組織活動性と血清PLA2-11A濃度
○山口 修, 杉村一仁, 石塚基成, 鈴木恒治, 長谷川勝彦, 大塚和朗, 本間 照, 朝倉 均(新潟大3内)
- (3) 潰瘍性大腸炎患者におけるNKTcellの検討
○鈴木康夫, 和泉秀彰, 齋藤康(千葉大2内)
- (4) CD腸管局所における $\gamma\delta$ T細胞に関する検討
○石黒 陽, 山形和史, 桜庭裕丈, 棟方昭博(弘前大1内)
- (5) IBD患者末梢血におけるサイトカイン産生能とNKT細胞比率の検討
○八木田旭那, 丸山正二, 助川 寧(近畿大腫瘍免疫等研究所), 高添正和(社保中央総合病院内科), 工藤正俊(近畿大消化器内科), 安富正幸(同1外)
- (6) IBD病変形成におけるサイトカインmRNA定量の意義
松本誉之, ○澤禎徳, 神野良男, 原順一, 中村志郎, 押谷伸英(大阪市大3内), 西口幸雄, 平川弘聖(同1外), 足立賢治, 北野厚生(住吉市民病院)
- (7) 潰瘍性大腸炎モデルマウスにおける粘膜IL-7/IL-7レセプターシグナル異常(T細胞受容体 α 鎖欠損マウスを中心として)
○福井一人, 山崎元美, 高木英恵, 江崎俊彦, 中野 雅, 矢島知治, 井上 詠, 金井隆典, 渡辺 守, 日比紀文(慶應大内科)
- (8) 肉芽腫好発モデルとしてのIL-1ra欠損マウスの解析
○向田直史(金沢大がん研究所), 飯笹 久(共立薬大)
- (9) 炎症性腸疾患患者における末梢血単球由来樹状細胞の検討
馬場忠雄, ○畑 和憲, 佐々木雅也, 安藤 朗, 辻川知之, 藤山佳秀(滋賀医大2内)
- (10) IBD腸管粘膜におけるMAdCAM-1の発現(第1報)
大谷明夫, ○有廣誠二, 名倉 宏(東北大大学院医学系研究科病理)
- (11) MAdCAM-1 アンチセンスによる実験的腸炎予防効果
○後藤 啓, 日野田裕治, 今井浩三(札幌医大1内)
- (12) 虫垂切除は潰瘍性大腸炎の発症を抑制するか—日本人における症例対照研究
○樋渡信夫, 須貝真生(東北大3内)

幹事会・昼食 (12:10~13:10)

14. プロジェクト研究 (13:10~13:30)

「UC患者の癌とdysplasiaを基準に、癌のsurveillanceを確立する」

責任者：名倉 宏

- (1) 潰瘍性大腸炎サーベイランスにおける効率化の検討
 - 篠崎 大, 渡辺聡明, 名川弘一 (東京大腫瘍外科)
- (2) 潰瘍性大腸炎の癌化とp53遺伝子異常
 - 味岡洋一, 渡辺英伸 (新潟大1病理), 高久秀也 (同1外)

15. プロジェクト研究 (13:30~14:40)

「UC難治例の大腸切除の適応を, 新治療法を加味して新たに定める」

責任者: 名川弘一

- (1) 高齢者潰瘍性大腸炎に対する外科治療と手術術式の選択
 - 舟山裕士, 内藤広郎, 福島浩平, 柴田 近, 児山 香, 増子 毅, 高橋賢一, 小川 仁, 佐藤 俊, 上野達也, 橋本明彦, 北山 卓, 佐々木巖, 松野正紀 (東北大1外)
- (2) IAA術後回腸嚢内の内視鏡像の検討
 - 須田武保, 下山雅朗, 飯合恒夫, 島村公年, 岡本春彦, 酒井靖夫, 畠山勝義 (新潟大1外)
- (3) 潰瘍性大腸炎の経過中, 骨盤腔・臀部膿瘍を併発した1例
 - 中野博重, ○藤井久男, 畑 倫明, 小山文一, 向川智英, 中尾 武 (奈良医大1外), 佐藤麗子, 増谷喬之 (同 中央臨床検査)
- (4) Crohn病に合併した肛門病変の外科治療
 - 杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター, 難病医療センター), 小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 山崎安信 (横浜市大外科)
- (5) 永久人工肛門となったクローン病症例の検討
 - 池内浩基, 楠正人, 野田雅史, 柳秀憲, 莊司康嗣, 山村武平 (兵庫医大2外)
- (6) 痔瘻を伴うクローン病に合併した肛門管癌の1例
 - 中野博重, ○山内昌哉, 藤井久男, 畑倫明, 小山文一, 寺内誠司, 杉森志穂, 榎本泰三 (奈良医大1外)
- (7) CD膿瘍合併例の検討
 - 亀岡信悟, 板橋道朗 (東京女子医大2外), 飯塚文瑛 (同消化器内科)

主任研究挨拶 (14:40~15:00)

評価小委員会 (15:00~16:00)

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成11年度第2回総会出席者名簿

2000年1月25日・26日

(参加154名) (敬称略)

主任研究者: 下山 孝

分担研究者: 馬場 忠雄 (滋賀医大2内), 日比 紀文 (慶應大内), 棟方 昭博 (弘前大1内), 樋渡 信夫 (東北大3内), 杉村 一仁 (新潟大3内), 味岡 洋一 (新潟大1病理), 杉田 昭 (横浜市大市民医療センター), 畠山 勝義 (新潟大1外), 櫻井 俊弘 (福岡大筑紫病院消化器), 牧山 和也 (長崎大光学医療診療), 金城 福則 (琉球大1内), 松本 啓之 (大阪市大3内), 高添 正和 (社保中央総合病院内), 福田 能啓 (兵庫医大4内), 北洞 哲治 (国立大蔵臨床研究), 守田 則一 (大腸肛門病センター高野病院),